

連日ニ亘ル亦候搜索等ニモ拘ハラズ全員志氣旺盛ナリ

ニ午後ハ完全ナル兵器被服ノ手入ヲナシタル後休養セシム

三本日十三時五十分中隊ノ英靈故中本軍曹以下九

柱ハ遺骨率領者仁井上等兵ニ護ラレ中隊全員

ノ涙ノ指別背裡ニ懐シノ兵營ヲ故山ニ向ヒ出發ス

中隊長以下舍前ニ整列心ヨリ御見送ヲナス

「マレー」作戰以來生死ヲ共ニシタル戦友ガ今ハ悲シ

キ無言ノ凱旋ヲナスニ當リ中隊員一同英靈ノ冥

福ヲ祈ルト共ニ益々團結ヲ鞏固ニシ此ノ英靈ニ恥

ヂザル標大東亞戰爭貫徹ニ努力セントノ覚悟

ヲ固メタリ

四、本日ノ勤務員左ノ如シ

勤務

0345

命令五

雑糞水筒糧食二日分飯盒各人毛布一枚及所蚊 服装ハ夏衣袴 戦帽徒手帶劍(刀)脚絆ヲ穿テ 選送遺骨宰領者ヲ命ズ	步兵第十一聯隊日日命令 仁井成 四月十九日 セレハン部隊本部	陸軍上等兵 以藤下五名 藤崎伍長	第三分哨 以桂下伍長 桂下伍長	第一分哨 以加藤上伍長 加藤上伍長	日直上等兵 住原上等兵 住原上等兵	日直下士官 菊原軍曹 菊原軍曹	巡察將校 郷端普長 郷端普長
-------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------	----------------------

(納谷典・京東)

0346

100

月 日	現 在 頁	異 動
四月二十日 月曜日 晴 於クアラピラー	八 八 名	覆面(又ハ蚊帳)ヲ携行スルモノトス 陸軍上等兵 仁井 成 入 遺骨率領者トシテ本日出發ス
一 本日ハ臨時休養ヲ實施ス 午前中兵眷ノ手入 由轉車ノ整備ヲ完全ニ實施ス		
二 十三時ヨリ勤務ニ支障ナキ全員ニ對シ特別外 出ヲ許可ス 外出人員十八名十八時全員異常 ナク歸隊ス		
三 十四時中隊長及橋本少尉ハ大隊ノ遺骨十九時 大隊本部出發汽車行ニテ昭南市ニ向フヲ以テ見 送りノタメ「アラピラー」出發大隊本部ニ赴ク 二十三時三十分見送り迄ニ事務連絡ヲ終リ歸隊ス		

陸軍

0347

勤務

四、本日、勤務員左、如シ

巡察將校

日直下士官

日直上等兵

第一分哨

第三分哨

第四分哨

命令五、

宮作命第三號

第二大隊命令

四月二十日
アヲクラシ
大隊本部

一、予、西北方「ジャングル」内ニ在リト豫想セシ共産
分子並ニ英敢死兵ハ作命第一號ニ基ク分

橋	小	藤	竹	高	今	以
本	田	岡	下	橋	下	下
少	兵	上	伍	伍	伍	伍
尉	長	兵	長	長	長	名

(納谷典・京東)

0348

命令五

駐以前既ニ其ノ大部ハ遠ク西北方山地内ニ逃
走セルモノ、如ク尚殘存敵性索出處分ハ其
ノ効ヲ奏シ附近一帯ハ極メテ平靜ニ歸シアリ
ニ大隊ハ第一期肅清ヲ了シ各々現駐地ニ復歸
シ前任務ヲ續行セントス

三、第八中隊長ハ一部ヲ「チチ」ニ分駐シ前任務ヲ
續行スベシ

四、分駐地撤退ハ四月二十日正午トス
五、予ハ四月二十一日「クアラクラワン」ヲ撤シ「セレンバン」
ニ歸還ス

第二大隊長 宮崎 大尉

下達法 印刷交付

宮作命第四號

第二大隊命令

四月二十一日
クアラクラワン大隊本部

0349

一、大隊ハ第一期肅清エ作ヲ了シ茲ニ一部部隊
 ノ移駐変更ヲ實施ス
 二、第六中隊ハ「バハウ」ヲ撤シ「ホートデックソン」ニ分
 駐シ從來ノ肅清方針ニ基キ附近ノ治安ノ
 確立ヲ期スベシ移駐時期ハ四月二十一日一五〇〇
 トス
 三、第七中隊ハ一小隊ヲ「バハウ」ニ分駐シ附近ノ治安
 肅清ニ任ズベシ
 細部ニ関シテハ第六中隊長ヨリ引継ヲ受クベシ
 責任轉換ノ時機ハ四月二十二日一〇〇〇トス
 四、第六中隊移駐ニ関シ自動車五輛ヲ配當ス
 配當区分左ノ如シ
 左
 第七中隊ヨリ
 二輛

(納谷典・京東)

0350

現在頁 月日	會報	第八中隊ヨリ 第五中隊ヨリ	第五第六中隊移駐細部ニ關シテハ四月二十日「セレン バン」ニ於テ中隊長ニ指示ス 第二大隊長 宮崎 大尉 下達法 第六 第七中隊ニ要旨電達後印刷交付 南警備隊會報 四月二十日一六〇〇 セレンバン警備隊本部 一、外出者ニシテ暑ノ為知ラ脱シ又帽子ノ「アマミダ」 ノ者アリ一般ニ注意セラレ度 八八名
四月二十一日 火曜日 晴於クアラビラー			
			一、中隊ハ明日一ヶ小隊ヲシテ第六中隊ト「バハ」警備 ヲ交代セシメルヲ以テ午前中諸準備ヲ實施セシ メ中隊長 橋本少尉 鴨伍長以下二名警備連絡

0351

命	命								勤
令	令								務
一	一								三
									本日ノ勤務員左ノ如シ
	宮内命第五號								十一時三十分連絡ヲ終了シ歸隊ス
	第二大隊命令								茲ニ地形偵察ノタメバハウ「警備隊」ニ赴ク
		第一分哨	第三分哨	第一分哨	日直上等兵	日直下士官	巡察將校		
		以 藤	以 打	以 倉	村 富	大	大		
		下 崎	下 坂	下 本	重 永	杉	杉		
		五 伍	五 伍	五 伍	上 等	少	少		
		名 長	名 長	名 長	兵 長	昔	尉		

四月二十一日
七ムバン大隊本部

(納谷典・京東)

0352

一、大隊ハ一部警備ノ變更ヲ實施セントス

二、富田中尉ハ部下小隊ヲ指揮シ、ケケニ進駐

シ、周邊地區ノ肅清治安ニ任ズベシ 第八中隊

一小隊ヲ隷下ニ入ラシム 移駐完了ノ時期ハ二十

二日十六時トス 肅清治安實施ニ際シテハ特

ニ「アラクラワン」警備隊長ト密ニ連絡スベシ

三、「クアラクラワン」警備隊長ハ部下一小隊ヲ「ケケ

ニ移駐セシメ、富田中尉ノ指揮下ニ入ラシムベシ

四、「バハウ」警備隊長ハ現駐地撤收ニ際シテハ配属

機關銃ヲ残置セシメ、「クアラクラワン」警備隊長

ノ指揮下ニ入ラシムベシ

五、予ハ「セレムバン」大隊本部ニ在リ

第二大隊長 宮崎 大尉

下達法 關係各隊長ニ要旨口達後印刷交付ス



現在頁 月 日	勤務
二月二十二日 水曜日 晴 於クアラピラー 八八名 一、本日橋本小隊(三十六名)ハ第六中隊ト警備ヲ交代ス ルヲ以テ八時四十分整列九時「バハウ」ニ向テ前進ス 九時三十分「バハウ」警備隊着直々ニ警備ノ中受ケテ ナスト共ニ市内ノ巡視並ニ附近ノ地形偵察ヲ實施 シ宿營準備ヲナサシム 十三時四十分諸準備完 了シ予ハ十四時三十分「クアラピラー」ニ歸隊ス 二、十四時三十分ニ張軍曹以下二名中隊修理自動車受 領ノタメ「セレムバン」ニ向テ出發セシム二十時歸隊ス 十六時ヨリ日直下士官ヲシテ體操遊戯ヲ實施セシム 三、本日ノ勤務員左ノ如シ	巡察 下士官 菊 原 軍曹 日直 下士官 二 張 軍曹

(納谷典・京東)

0354



現在 日	現在 員 名	第一分哨	第三分哨	第四分哨	六二名	四月二十三日 水曜日 晴 於クアラベラー	日直上等兵	渡利上等兵
三、十六時ヨリ日直下士官ヲシテ體操遊戯ヲ實施セシム	一、中隊ハ午前中完全ナル兵器自轉車ノ手入ヲ實施セシム	以竹	以高	以竹			桂	
	二、十三時ヨリ大豪雨來リ念内外著シク汚染セラレタ	下	橋	下			下	
	レバ日直下士官ヲシテ全員ヲ擧ゲテ舍内外ノ清潔	伍	伍	伍			伍	
	整頓ヲ實施セシム	五	伍	伍			伍	
		名	長	名			長	

陸軍

0355

會報	勤務
五	四本日ノ勤務員左ノ如シ
<p>一、昭南島攻略ニ際シ恭園首相ヨリ軍司令部ヲ 通シ麥酒ヲ贈與セラレタルニ付各隊ハ明二十一日</p>	<p>逃禁將校 日直下士官 日直上等兵 第一分哨 第三分哨 第四分哨</p> <p>郷端普長 塚軍普長 佐原上等兵 打板伍長 以下五名 平岡上等兵 以下五名 寺本兵長 以下五名</p>
會報	<p>四月二十三日一六〇〇 セレハバン部隊本部</p>

(納谷典・京東)

0356

會報 六

十六時迄ニ受領者ヲ部隊本部ニ差出サレ度

南警備隊會報

四月二十三日一六〇〇
セレハバン警備隊本部

一 四月十六日以降第二十五軍司令部ハ旧馬來英租界

軍司令部跡ニ轉移セルニ付承知相成度

一 過日實施セル「マリア」原蟲檢索ノ結果陽性者

ニ對スル後療法ヲ實施スルニ付各隊ハ「マリア

患者係及「マリア」後療法ヲ設ケ治療ノ徹底ヲ

期セラレ度

一 各隊共防蚊防蟻ニ就テハ深甚ナル注意ヲ辨ヒ

ツ、アルモ最近ノ肅清工作或ハ山地方面ノ討伐

等ノ爲之ヲ實施不徹底ノモノアリ速ニ駆除ニ

努メラレ度

六ニ名

四月二十四日 金曜日 晴後雨 於クアラピラー

								勤務	
								一、十一時ヨリ二時間不勤ノ姿勢ヲ敬禮演習及各個教練ヲ實施セシム 二、十六時ヨリ二時間体操野球其他ノ遊戯ヲ實施セシム 三、日夕點呼後軍歌演習ヲ實施セシム 四、本日ノ勤務員左ノ如シ	
								巡察下士官	
								日直下士官	
								日直上等兵	
								第一分哨	
								以下五名	
								渡利上等兵	
								以下五名	
								以本伍長	
								第四分哨	
								念本伍長	

(納谷典・京東)

0358

會報 五

南警備隊會報

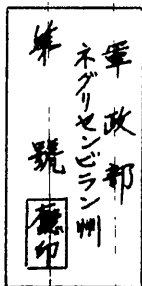
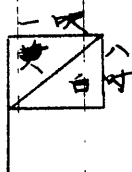
以下五名

四月二十四日ニロコ
セレハバン警備隊本部

一、ネグリセンピラン州内ノ土民ニシテ特ニ重軍ニ協力シ其ノ功績顯著ナル者ニ對シテハ來ル四月二十九日天長ノ佳節ヲトシ州知事ヨリ表彰狀ヲ授與スルニ付該當者アラバ其功績内容ヲ具體的ニ筆記シ四月二十七日迄ニ報告相成度

一、ネグリセンピラン州政廳使用ノ自動車ハ爾會左記ノ通り標識ヲ定メタルニ付承知セラレ度

知事標識



現在員 六

四月二十五日 土曜日 晴 於クアラピラー

勤務

一、午前中完全ナル兵器被服ノ手入ヲナシタル後勤務
下番者ニ對シ特別外出ヲ許可ス

外出人員一三名十六時五十分全員異狀ナク歸隊ス

二、十七時ヨリ日直下士官ヲシテ体操遊戯ヲ實施セシム

三、本日ヨリ「クアラピラー」市外ニ民族融和堂成宣布ノタメ

日語學校ヲ市外馬來人小學校ニ開設シ菊原軍曹ヲ

教師トシ一般市民ニ日語教育ヲ開始ス

四、「クアラピラー」ハハウ駐留規定別冊ノ通り是ム

五、本日ノ勤務員左ノ如シ

二	張	軍	曹
打	坂	伍	長
林	上	等	兵
高	橋	伍	長
以	下	五	名

(納谷典・京東)

0360



第三分哨	竹内伍長
第四分哨	以下五名
陸軍一等兵	平岡上等兵
第四野戰病院入院中、處治瘵退院中隊ニ復歸ス	以下五名
六三名	早川春三
四月二十六日 日曜日 晴 於アラビラー	
二中队ハ本日射撃技能向上ノタメ勤務員ヲ除ク全員十時ヨリアラビラー射撃場ニ於テ久シ振リノ小銃ニ擲彈筒ノ實彈射撃ヲ實施ス	
教官 柳端昔長	
演習人員 三九名	
十三時終了歸隊ス	

陸軍

0361

勤務

四 本日ノ勤務員左ノ如シ

ニ 本日ノ射撃演習ノ成績ハ小銃・擲彈筒共命中率概ネ良好ナル又久シキニ至ル戦闘行動ノタメ射撃姿勢並ニ射撃動作不良ナルモノ多シ
 歩兵ニ取リテ射撃ハ銃劍術ト共ニ最モ大切ナルモノナリ各員ハ常々暇アル毎ニ据銃演習射撃ヲ豫行演習並ニ射撃姿勢ノ演練ヲ重ネ射撃技能ノ向上ヲ期セザルヘカラザル旨訓示ス
 三 十六時ヨリ日直下士官ヲシテ体操銃劍術ヲ實施セシム

巡察將校

大杉少尉

日直下士官

倉本伍長

日直上等兵

玉貞上等兵

第一分哨

桂伍長

(納谷典・京東)

0362

				美 勳 五	現在 夏 天	月 日
以下 五 名	平岡 上等 兵	以下 五 名	以下 五 名	陸軍一等兵 木葉千代太	診断ノ結果第四野戦病院へ入院ス	四月二十七日 月曜日 晴 於クアラピラー
<p>一、前日ト同一要領ニテ十時ヨリ勤務下番者二十一 名ニ對シ小銃並ニ擲彈筒ノ實彈射撃ヲ實施 ス十二時二十分終了歸隊ス</p> <p>二、本日モ大體ニ於テ命中率良好ナルモ依然前日ノ如 ク射撃動作並ニ射撃軍紀不良ナルモノ多シ左ノ</p>						

陸軍

0363

勤

務

訓示ヲ與フ

射撃並ニ剣術ハ我等歩兵ニ取リテ最モ大切ナルモノニ

シテ戦闘ニ最終ノ決ヲ與フルモノナリ

此ハ此點ニ幸ニ留意シ閑暇アル毎ニ射撃動作

並ニ格闘演習ヲ行ヒ次期作戰ニ不覺ヲ取ラザル様

努力スルコトヲ切望ス

三、十六時ヨリ日直下士官ヲシテ體操ヲ實施セシム

四、本日ノ勤務員左ノ如シ

巡察將校

郷端普長

日直下士官

菊原軍普

日直上等兵

伊藤上等兵

第一分哨

渡利上等兵

第二分哨

以下五名

高橋任長

高橋任長

(納谷真・京東)

0364

陸軍

第四分哨

以下五名
寺本兵長
以下五名

命令五

宮作命第六號

第二大隊命令

四月二十七日ハバシ

一、テテレニ分駐中ナリシ大隊砲小隊ハ四月二十八日正午以降現駐地ヲ撤シテセレムバンニ復歸スベシ
二、第八中隊長ハ一小隊ヲテテレニ残置シ現任務ヲ續行スベシ

三、警備責任轉換ハ二十八日正午トス

四、細部ニ關スル事項ハ兩隊長ニ於テ協定スベシ

第二大隊長 宮崎 大 尉

下達後關係各隊長ニ要旨ヲ達後印刷交付ス

南警備隊日日命令

四月二十七日ハバシ
南警備隊本部

命令六

0365

一、來ル四月二十九日天長節ニ方リ「セレムバン」部隊ハ

選擇式並訓示ヲ行フ

依テ左記ノ通り心得ヘシ

南地區警備隊及北地區分屯隊ニ在リテハ在「セレムバン」部隊ニ準ジ各隊長ニ於テ適宜實施スベシ

左記

イ式ノ次第左ノ如シ

一、警備隊長臨場

二、第二大隊長ノ指揮ヲ以テ敬禮

三、軍旗奉拜

四、重臣還拜

五、戦役將士ノ英靈及東亞共榮圈建設ニ對シ新ニ

覺悟ヲ深メル為默禱(三分間)

六、警備隊長訓示

(納谷典・京東)

0366

ト天皇陛下萬歲 三唱

子軍旗奉送

リ警備隊長ニ敬禮

又解 散

ト服装ハ儀式ノ場合ニ於ケル軍装ニシテ一般ニ

略綬ヲ佩用スベシ

一四月二十九日天長節祝日ニ當リ各隊ハ式後軍隊

内務書第百九十六ニ準ジ外出セシムルコトヲ得

南警備隊會報

四月二十七日一六〇〇
セレムバン警備隊本部

一巡察將校ノ報告ハ具體的ナラシムルト共ニ歩

哨ノ勤務中特ニ警戒心旺盛ナルヤ又職務ニ

對シ忠實ニ服務シアルヤヲ詳カニスルヲ要ス

軍ニ守則ノ記憶理解ノ程度ヲ以テ服務良

好トスルハ適當ナラズ精神方面ニ重点ヲ指

會報

勤務	現在頁 月 日
<p>五、本日ノ勤務員左ノ如シ</p> <p>四十七時ヨリ日直下士官ヲシテ休操遊戯ヲ實施セシム</p> <p>外出者二十三名 十八時全員異常ナク歸隊ス</p> <p>三、午後一般ニ休務トシ勤務ニ支障ナキ全員ニ對シ特別外出ヲ許可ス</p> <p>二、九時兵長以上ニ對シ大隊長ノ訓示並ニ注意事項ヲ傳達シ長期駐留ニ際シ各人ハ一層緊張ヲ示ス</p> <p>一、本日八午前中射撃後ノ完全ナル矣器ノ予入ヲ實施セシム</p>	<p>向シ觀察スルニト緊要ナリ</p> <p>六二名</p> <p>四月二十八日 火曜日 晴 於クアラピラー</p>

(納谷英・京東)

0368

陸軍

巡察下士官 中塚軍曹

日直下士官 小田長

日直上等兵 唐崎上等兵

第一分哨 佐々木上等兵

第二分哨 以下五名

第三分哨 平岡上等兵

第四分哨 以下五名

第五分哨 以下五名

命令六

本日ヨリ第四分哨ヲ引上グ

南警備隊日日命令 四月二十八日大。 七ハバン警備隊本部

一 來ル四月三十日靖國神社例大祭日ニ付各隊ハ

適宜遷拜式ヲ行フト共ニ祈誓ノ精神訓話ヲ

行フベシ右行事終了後軍隊以務書第百九十六

0369



月 日	現在 頁	會 報
<p>四月二十九日 水曜日 晴 於クアラピラー</p> <p>一本日ハ天長節ノ佳キ日ナリ 十時ヨリ 金前營庭ニ於テ</p>	<p>ハ</p> <p>六二名</p>	<p>ニ準ジ外出セシムルエトヲ得</p> <p>南警備隊會報</p> <p>四月二十八日一六〇〇 セレムバン警備隊本部</p> <p>一、來ル四月二十九日及三十日ハ 軍隊任務書第百九十六 ニ準ジ外出セシムルエトヲ得ルモ 外出先ニ於ケル下 士官以下ノ状態必ズシテ 良好ナラザルモノアリ 即チ酒氣ヲ帯ビテ他人ニ迷惑ヲ掛ケ或ハ態度 嚴正ヲ欲ス爲ニ 土民ヲシテ不快ノ感ヲ抱カシムル 等之ナリ 各隊ハ 馬來駐留間外出ニ關スル規程 第三但シ書ノ通り 外出者ノ 銜ヲ適切ニシ 事 前教育ヲ徹底スルト共ニ 各隊毎ニ 所要ノ 巡察ヲ 派遣シ以テ之等 非違行爲ノ 絶無ヲ期セラレ度</p>

(納谷典・京東)

0370

陸軍

一同選拜式ヲ行ヒ聖壽ノ無窮ヲ壽ズ奉リ陣歿
 諸將兵ニ對シニ分間ノ黙禱ヲ捧ゲタリ
 然ル後左ノ訓示ヲ與フ
 本日我々ハ此ノ馬來ノ地ニ於テ榮アル天長ノ佳節ヲ
 迎フルニ方リ衷心感激ニ堪ヘズ 我々軍人ハ勿
 論銃後一億ノ民ハ擧ゲテ御喜ビ申セケル次第デ
 アル
 我々が榮アル大東亞作戦ニ参加シ今茲ニ新領土
 馬來ニ於テ天長節ノ悦ビヲ領テ得ルコトハ一ニ
 御稜威ノ然ラシムル所デアル 我々軍人 銃後
 一億ノ民ハ一致協力益々團結ヲ固クシ大東亞戦
 争ノ完遂ヲ期シ以テ
 大元帥陛下ノ御宸襟ヲ安ンジ奉ル様奮勵努力
 シナケレハナラナイ

0371

勤

務

四本日、勤務員を、如シ

愉快ニ送レリ

ニ、警備地区各町村部落ニ於テハ、毎ニ日、丸ノ
 國旗ヲ掲ゲ、土民ハ手ニ手ニ日影旗ヲ持テ舞
 踊ノ儀シ物々諸々ニ散見セラレ、學子童ノ遊行列
 等アリテ、心ヨリ聖壽萬歳ヲ壽ヤ奉リタリ
 三、十四時ヨリ警備隊駐ニクアラビラレ、維持會主催ノ下
 ニ各人程和氣霽々トシテ各種競技ヲ演ジ終日

巡 察 將 校

郷 端 普 長

日 直 下 士 官

藤 崎 伍 長

日 直 上 等 兵

渡 利 上 等 兵

第 一 分 哨

山 本 兵 長

第 二 分 哨

以 下 五 名

加 藤 上 等 兵

加 藤 上 等 兵

(納谷奥・京東)

0372

第三分哨

以下五名
桂伍長
以下五名

六二名

現在員五

四月三十日 水曜日 晴 於クワラピラー

一、本日ハ靖國神社臨時大祭ナルヲ以テ十一時ヨリ
全前營庭ニ於テ選擇式ヲ行ヒ後左記訓示ヲ與フ

左記

本日靖國神社臨時大祭ヲ舉行セラル、ニ方リ
我等ハ今ハ無キ先輩ノ偉勳ヲ思フト共ニ一致協
力益々團結ヲ鞏固ニシ一徳一心以テ大東亞戰事
完遂ニ邁進セントラ誓フ

二、本日ハ勤務ニ支障ナキ全員ニ對シ軍隊外務書
第三九十六ニヨリ外出ヲ許可ス

0373

命 令 四						勤 務
同 久 陸 軍 軍 曹	歩 兵 第 十 聯 隊 日 日 命 令	第 二 分 哨	第 一 分 哨	日 直 上 等 兵	日 直 下 士 官	逃 察 下 士 官
中 張 塚 康 浩	以 竹 下 五 名	以 打 下 五 名	以 佐 木 上 等 兵	吉 本 上 等 兵	高 橋 伍 長	二 張 軍 曹
	七 月 三 十 日 一 大 隊 本 部					外 出 者 三 十 八 名 全 員 異 狀 十 七 時 限 外 二 聯 隊 又

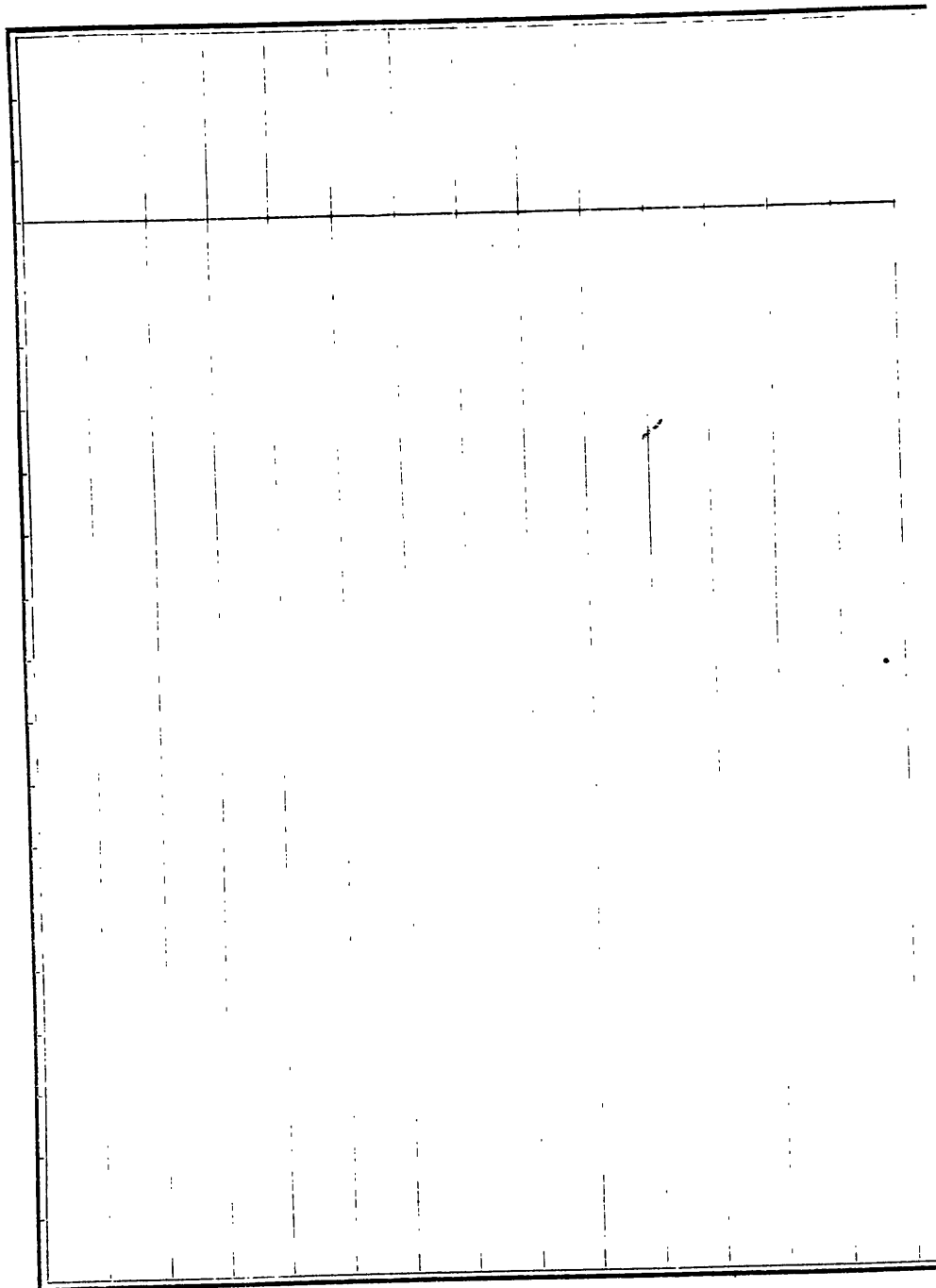
(納谷英・京東)

0374

現在 頁								
六 二 名	給 一 等 給	同 同	同 同	同 同	一 ノ 陸 軍 任 長	給 三 等 給	一 ノ 陸 軍 軍 曹	給 二 等 給
		高	今	鴨	藤		菊	
		橋	田	秋	崎		原	
		清	惣	秋			松	
		秀	一	夫	寛		大	

陸
軍

0375



(納谷奥・東東)

0376